

H22年度総合評価(文化スポーツ課、緑化公園課所管施設)

施設名	笠原中央公民館	図書館笠原分館	笠原運動公園	笠原体育施設	
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)	
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	期待以上	良好	—	良好
	市事業の実施	期待以上	良好	—	良好
	自主事業	期待以上	良好	—	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	—	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	127,725,733			
	内利用料金収入	11,979,430			
	内指定管理料	105,118,000			
	支出	125,514,203			
	収支	2,211,530			
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	
全体的評価	期待以上	良好	良好	良好	
	<p>(中央公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合施設の特徴を生かし、文化・スポーツの複合イベントを企画、実施し、成果をあげた。 前年度に引き続き多彩な事業を展開するとともに、“アザレアホール”の名を浸透させて、新たな利用層の拡大に努めた。 駐車場やホールの暖房の問題など指定管理者としての範囲を超える問題にも利用者には真摯な態度での対応に努めている。 笠原地域の様々な団体との連携を一層密にしており、笠原地域の活動拠点としての価値を高めた。 選定にあたっては、運営が難しいという印象であったが、非常によいパフォーマンスで3年間を終えた。 文化とスポーツの要素のある新拠点として、また笠原の玄関としての立場を十分に自覚し、良い形で運営された。 <p>(図書館)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出人数、貸出冊数ともに平成21年度と比べて増加させた。 利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理しており、全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 <p>(体育施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努め、ニーズにあった事業の展開に心掛け、苦情にも真摯に対応している。 職員研修も積極的に行っており、利用者とのコミュニケーションにも努めている。 小規模修繕については、指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え対応が早い。 利用者、利用率、利用料金収入等は、ほぼ横ばい状態となっている。大幅な伸びを示してきたトレーニング講習会の利用者は前年比66.6%に減少した。 <p>(公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好である。 				
利用人数・前年度比増減率	延べ41,588人 (前年度比10.7%増)	延べ11,316人 (前年度比9.1%増)	—	延べ116,582人 (前年度比1.5%増)	
増減の理由	全体的に利用率が増加したことによる。	とくになし	—	とくになし	